

令和 5 年度 工賃向上計画書（通期）

事業所（施設）名	小田原第2アシスト				事業種別	就労継続B型事業		
平均工賃の推移	前々年度（令和 3 年度）実績				前年度（令和 4 年度）実績			
	期	上半期	下半期	通期	期	上半期	下半期	通期
	月額	12,301	14,421	13,372	月額	13,274	14,311	13,802
	時間額	170	200	185	時間額	172	196	184
平均工賃の目標	今年度（平成 5 年度）目標				令和 5 年度以降の目標			
	期	上半期	下半期	通期	期	R 6 年	R 7 年	R 8 年
	月額	14,271	14,271	14,271	月額	14,756	15,258	15,777
	時間額	192	192	192	時間額	201	210	220
前々年度と比較した前年度の工賃支給状況	支払総額		（○）増加傾向 （ ）横ばい傾向 （ ）減少傾向					
	延べ工賃支払対象者数		（ ）増加傾向 （○）横ばい傾向 （ ）減少傾向					
	延べ勤務時間数		（ ）増加傾向 （○）横ばい傾向 （ ）減少傾向					
	平均工賃	月額	（○）増加傾向 （ ）横ばい傾向 （ ）減少傾向					
		時間額	（○）増加傾向 （ ）横ばい傾向 （ ）減少傾向					
前年度の作業種目及び収入実績	作業種目		前年度収入額	割合	傾向			
	自動車部品		1,972 千円	52 %	微減している。			
	内職作業		1,677 千円	44 %	増加している			
	農作業（外作業）		132 千円	4 %	新たな試み			
			千円	%				
			千円	%				
前年度に工賃向上に効果上げた具体的な事項	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車部品の作業受注量が減少したが、（株）研進様より3月に年度末手当（コロナ禍での受注減少分を補填する意味合い）として、臨時的収入があり大きなマイナスを回避することが出来た。 ・今年度より農作業の委託を請負、少しであるが収入増に繋げることが出来た。 							
工賃向上のためにクリアしなければならない課題事項（複数回答可）	<ul style="list-style-type: none"> （ ）販売品に魅力がない （○）販売先が限られている （○）受注単価が安い （ ）他事業所とのネットワークがない （○）職員の作業負荷増大 （ ）職員のコンセンサス （ ）その他（ ） （ ）販売品種が少ない （ ）立地条件が悪い （○）多量の注文が受けられない （○）利用者の作業負荷増大 （ ）利用者特性 							
優先的にクリアしなければならない課題の具体的な内容と対応策	<ul style="list-style-type: none"> ・農作業を請け負う際に、参加可能な利用者少ないので、人材の育成が必要 ・職員の農作業においての、知識や技術向上が必要。 →職員が研修に参加若しくは、熟練の農家様に教えてもらい、それを利用者へ還元して、育成へとしていく。 ・自動車部品と並行しながら、多種目の作業への取り組みが必要。 							
今年度計画している改善策（複数回答可）	<ul style="list-style-type: none"> （ ）品質の向上 （ ）販路開拓 （ ）新商品開発 （ ）他事業所とのネットワーク化 （○）内部努力 （○）作業種目の見直し （○）職員の意識啓発 （ ）神奈川県工賃向上支援事業への積極的な参加 （○）その他（農作業の可能性を増やしていく） 							
今年度計画している改善策の具体的な内容	<ul style="list-style-type: none"> ・（株）研進様より、部品単価の上昇（コスト高、輸送高などの社会情勢の変化及び作業受注量の減少が継続している状況を合わせて配慮して頂いた）があり昨年度並みの受注量があれば、収益は増加する見込みである。 ・農家様の手伝いの需要が多くありそうなので、積極的に参加して出来る作業種目を増やし、選択肢の幅を広げていく。 ・借用した田んぼを畑にして、収穫する作物を増やしていく。 							
目標工賃達成指導員					島本 まゆみ			